

# 今こそ 若い力で 新しい習志野。

## Report 関根ひろゆき No. 13

### 第一回定例会市政報告



#### ご挨拶

謹啓 日頃より、私の政治活動に際し、絶大なるご指導、ご鞭撻を賜り、誠にありがとうございます。

この度の第一回定例会において平成29年度予算が承認されました。今年度予算は約572億円。市税収入は5.7億円増加したものの、社会保障費が8億円増となっています。

また本年度は学校給食センター施設整備PFI事業や、四市複合斎場建設事業等が行われます。

私は今議会で認知症についてと新消防庁舎の建設についての一般質問を行いました。是非、お目通しの上、ご意見、ご要望をお待ちしております。 謹白

平成29年5月吉日  
習志野市議会議員 関根洋幸

#### 認知症について

Q本市における認知症の人の現状と現行の取組、今後の課題について伺う。

A本市の認知症高齢者数は平成28年9月末で約6200人。取組として、早期発見・早期対応、普及啓発の推進と介護者への支援の3点。課題として医療・介護連携体制の整備が必要。29年度には、認知症初期集中支援モデルチームの設置を予定している。

Q認知症サポーター養成講座の状況について。

A平成21年の開始以来、市民、職員併せて延べ7660人となっている。また、小中学校においても、延べ小学校2校、中学校8校の延べ1278名の児童、生徒が認知症サポーターとなっている。

**要望: 今後益々増加していくであろう認知症への対策としては、地域、行政が包括的に支援していく事が必要。更なる普及啓発と連携体制の整備を!**

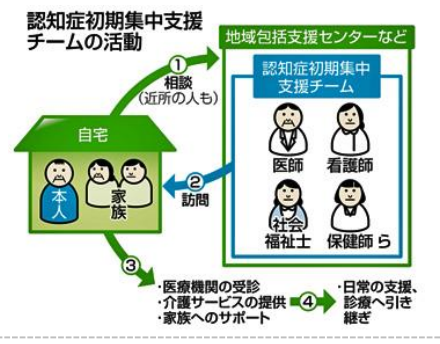
## 新消防庁舎建設について

Q新消防庁舎建設の概要について伺う。  
 A新庁舎完成後の第2期計画として進め、免震構造の耐震性を備えた3階建て庁舎と訓練施設を建設予定。平成30年に建設、解体の実設計後、順次進める。  
 Q新消防庁舎に市民が使用出来る体験型防災施設の設置の有無について伺う。  
 A防災体験が出来る設備の計画はないが、訓練用消火栓を設置する計画はある。  
 Q体験型防災施設の必要性をどう考えているか。  
 A市民の防災意識の向上に努めるため、必要性はあるが施設の設置については考えていない。

**要望：体験型防災施設の再検討を！**

## 認知症初期支援チームとは？

専門職計3名と、国が定める認知症専門医1名の計4名の体制。医療や介護サービスを受けておらず認知症の診断を受けていない者等を対象として、家庭訪問等により、初期の支援を集中的に行うとされている。



## 訓練用消火栓について

Q訓練用消火栓は市民が使用できるのか。  
 A市民が消火栓を使用することは、認められていないが消火栓と同様の構造で、道路上に設置してある排水栓については平成27年3月5日に、水道事業所と習志野市との上水道における排水栓の取り扱い等に関する覚書が締結されており、その中で自主防災組織などに限って、訓練や消火のための使用が認められているが、消防職員の指導の下、水を取り出すためのスタンドパイプや、消火用ホースなどの取り扱い訓練が必要である。

**要望：本市は道路が狭く木造住宅が密集している地域が多い。排水栓を使用した消火活動は有事の際に必ず役に立つ。自主防災組織に対する更なる普及啓発を！**

## スタンドパイプとは？

いざという時、住民が活用できる消火資器材のひとつがスタンドパイプです。スタンドパイプは、道路上にある消火栓や排水栓に差し込み、ホースをつなぎ消火を行います。軽量で操作も簡単、消防車が進入できない道路の狭い地域や木造住宅密集地域でも近くの消火栓等を使って消火活動ができます。



# 活動報告 Report



小林鷹之防衛大臣政務官と



新議場の様子

### PROFILE

**関根洋幸** (せきね ひろゆき)  
 1986年7月13日生まれ  
 谷津保険病院にて出生  
 習志野市立谷津幼稚園卒園  
 習志野市立谷津小学校卒業  
 習志野市立第一中学校卒業  
 亜細亜大学法学部法律学科卒業  
 在学中、卒業後にWestern Washington Universityに留学  
 帰国後、参議院議員、千葉県議会議員事務所を経て、衆議院小林鷹之公設秘書として勤務  
 2015年習志野市議会議員初当選

ホームページ  
<http://sekine-hiroyuki.jp>  
 発行：関根ひろゆき後援会  
 習志野市谷津5-29-6